



気象庁が2018年にまとめた資料によると、大分市の平均気温は過去100年間で1.89度上昇しました。

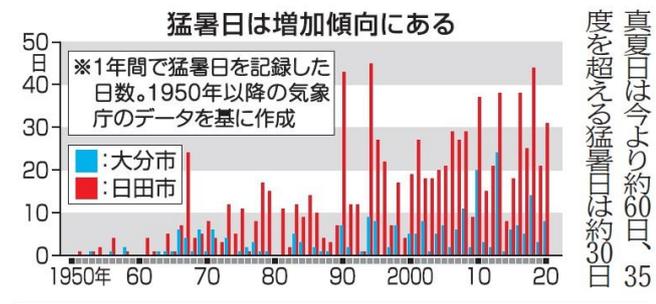
2021年5月5日付 大分合同新聞1面

- ① 大分市の平均気温は今世紀末に、20世紀末よりも4.1度高い約20度になるかもしれません。そうなった場合、どのようなことが起きると予測されますか。()の中に入る数字を書いてください。

★最高気温が(30)度を超える「真夏日」は今より約(60)日増え、1年の3分の1に当たる約120日になる。

★1時間に(50)mm以上降る「非常に激しい雨」の発生回数は、約(2)倍に増加する。

気象庁が2018年にまとめた資料によると、大分市の平均気温は過去100年間で1.89度上昇するなど、県内も温暖化が進んでいる。
将来予測は深刻だ。世界の対策が進まなかった場合、同市は今世紀末(76、95年)の年平均気温が20世紀末(1980～99年)よりも4.1度高い約20度になる。大分地方気象台は現在の種子島(鹿児島県)の年平均とほぼ同じになる」と指摘する。
最高気温が30度を超える



雨の降り方もさらに極端になりそう。1時間に50mm以上の「非常に激しい雨」の発生回数は約2倍に増加。一方、雨の降らない日も増える」と予測されている。
同気象台は「長い目で見ると温暖化傾向は明らか。身近な生活にも影響が出てくる恐れがあることを知っておいてほしい」という。

大分市 過去100年間で1.89度上昇

- ② グラフは大分市と日田市の猛暑日の推移を表しています。()に入る言葉を書いてください。

★猛暑日は、日田、大分の両市とも(増加)傾向にある。

- ③ 大分地方気象台は「長い目で見ると温暖化傾向は明らか。身近な生活にも影響が出てくる恐れがあることを知ってほしい」と話しています。地球温暖化でどんな影響が出るか、話し合ってみましょう。

温暖化により、自然生態系が変化し、農業などに影響が出そうです。これからは、高温に強い品種選りや栽培技術の改良が必要になるでしょう。また、豪雨が増え、海面が上昇することから、河川や沿岸部の整備など防災面の対策も必要でしょう。熱中症など健康面の対策や、冷房使用の増加などエネルギーの使い方、産業・経済活動の変化も考えなければならないでしょう。気候の変化で私たち暮らしはどう変わるか、そしてどう対応するかを考えましょう。